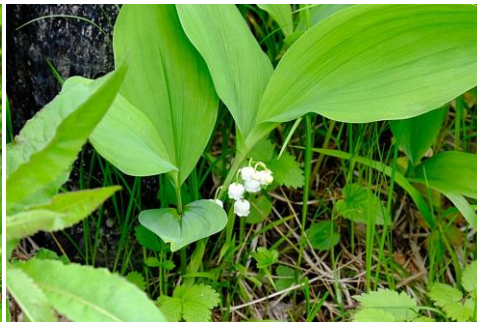


## 霧ヶ峰(きりがみね 1925m 車山)

梅雨入りしてから10日ほど経ち、今朝もどんよりした空模様。ただ雨の心配はなさそうで暑くも寒くもないのが救いだ。バスは上信越道を通って佐久南ICでおり、県道142号、40号線(ビーナスライン)を南下。女神湖、白樺湖のリゾート地を經由して車山肩駐車場に到着。今日はビジターの鈴木茂さんを含め18名の参加でリーダーは笠石さん◆出発するにあたり今日は2組に分かれ、湿原周遊組には川上さんと高山さん。残りの16名は車山登山組として行動し、昼食地点で合流することになった。登山組は浮石が多い緩やかな道を45分ほど登り、気象観測所のある山頂へ。するとそこには大展望が広がっていた。コロナ禍の制約もあって、こうした山並みが広がるパノラマは久しく見てこなかったことを実感◆展望を楽しみ、車山神社に手を合わせてから山を下ると、そこにも眼下に絶景が広がっていた。蓼科山や八ヶ岳を背景に白樺湖周辺が箱庭のように俯瞰でき、まさに一幅の絵を見るような風景だ◆車山乗越からは車山・八島の両湿原を取り囲む小径を進む。するとちょうど花をつけ始めたレンゲツツジの群落があったところにみられた。他にもシロスマレやアカギキンポウゲなどが色を添えている。やがて鎌ヶ池キャンプ場跡に着くと山小屋の廃墟があり、その近くには「山小舎の灯」の歌碑。子供のころ口ずさんだ歌だが、そういえば「あざみの歌」も八島湿原が舞台であるという◆しばらくして八島山荘近くの七島八島と大きく書かれた休憩地に到着し、ここで周遊組のお二人と合流して昼食とする。お腹を満たした後の小径にも湿原に咲くグンナイフウロ、アマドコロ、スズランなどお馴染みの草花が次々と現れた。しかし沢渡からの長く続く最後の上りが緩斜面ながらきつかった◆今回は復調された高山さんが元気な姿で参加され、ビジター参加の鈴木さんも今回を機に正式メンバーに加わって下さることになった。山の大展望に遭遇。さらにレンゲツツジの群落や高山植物にも出合い、盛りだくさんの山行だった。(南雲記)



梅雨時ながら天候にも恵まれ、久々にくさんの山行だった。(南雲記)



北市民セ 6:00→鶴ヶ島 IC 6:15→横川 SA 7:20 →佐久南 IC 8:00→(ビーナスライン)→車山肩駐車場 9:05 登山開始  
9:15→車山山頂 10:05 着 10:15 発→車山乗越 10:50→蝶々深山 11:10→物見岩(物見石) 11:40→奥霧小屋跡(鎌ヶ池  
キャンプ場跡) 12:20→八島山荘(八島ヶ原湿原) 12:30 着(昼食) 13:10 発→沢渡 13:50→車山肩駐車場 14:30 バス  
発 14:45→コンビニ 15:45→横川 SA 17:00→鶴ヶ島 IC 18:30→北市民セ 18:45 @3500